

1 全国学力学習状況調査（6年）

国語	全体	言葉の特徴	言語文化	話す聞く	書く	読む
新小	64	69.2	84.2	66.4	39.5	64.8
埼玉県	67	70.4	80.7	68.1	49.7	68.2
全国	65.6	69.0	77.9	66.2	48.5	66.6
算数	全体	数と計算	図形	変化関係	データ活用	*
新小	59	68.0	57.2	44.7	64.0	*
埼玉県	64	69.9	64.5	51.8	69.2	*
全国	63.2	69.8	64.0	51.3	68.7	*
理科	全体	エネルギー	粒子	生命	地球	*
新小	62	45.7	60.0	74.7	66.3	*
埼玉県	65	52.5	61.6	76.7	65.3	*
全国	63.3	51.6	60.4	75.0	64.6	*

3教科とも国平均、県平均をやや下回る結果となった。国語では、「言語」に関する項目は、全国平均よりも高い正答率であることから、基礎的基本的な内容は身につけている。一方で、「書くこと」に課題があり、思考を伴いながら答える問題に課題が見られる。算数では「図形」と「変化と関係」に課題がある。「数と計算」に関しては、全国平均並の学力がある。また、問題形式別では、短答式よりも記述式の方が全国平均に近い正答率であった。理科では概ね全国平均並の正答率であったが、「エネルギー」に関する問題で正答率の低下が見られた。

2 埼玉県学力学習状況調査（4～6年）

教科		4年生			5年生			6年生		
		正答率	学力レベル	学力の伸び	正答率	学力レベル	学力の伸び	正答率	学力レベル	学力の伸び
国語	新小	60.4	6-C	*	52.4	6-B	0	62.4	7-B	3
	狭山市	61.8	6-C	*	53.1	6-B	0	63.1	7-B	2
	埼玉県	62.1	6-C	*	56.2	6-A	0	63.8	7-A	3
算数	新小	61.3	5-B	*	61.5	6-C	1	58.2	6-A	3
	狭山市	61.7	5-B	*	60.6	6-C	2	59.2	6-A	2
	埼玉県	63.0	5-B	*	63.0	6-C	1	59.8	6-A	1

どの学年でも、正答率が県平均よりも劣っているが、学力レベルを見ると、県と同等の学力レベルであることがわかる。また、6年生では国語も算数ともに学力の伸びが大きく、県平均に近づいていることがわかる。一方、5年生は県全体的に伸びが少ない結果となった。また、国語の「話すこと・聞くこと」算数の「データの活用」で県より結果が劣っていた。

また、学力との相関が大きいものに、「1ヶ月の読書の冊数」があった。（下グラフ参照）読書量が多いほど学力が高くなる傾向が見られた。家庭や休み時間に読書をする習慣を付けて行きたい。

